

# おだひろみ

## 区議会レポート 2022 AUTUMN No,10

### 小田浩美プロフィール

- 1965(昭和40)年 9月生まれ 宮城県女川町出身 東二丁目住(36年)
- 家族 夫・娘・息子 渋谷消防団第二分団所属 防災士
- 第14代国土交通大臣馬淵澄夫公設秘書 衆議院議員中谷一馬政策担当秘書 衆議院秘書協議会副会長 民進党秘書会会長 立憲民主党秘書会会長 日本秘書クラブ会員 ジャパンコードイネータースクール卒 NPO法人一新塾14期・16期卒
- 平成31年渋谷区議会議員初当選
- 総務委員会 官民連携事業調査特別委員会

もっともっと  
輝くシブヤ  
Shining Shibuya



### 令和4年第3回定例会 9月7日~10月11日

本定例会では、条例案16件、令和4年度一般会計補正予算3件、令和3年度一般会計歳入歳出決算等4会計の決算審査、契約案件1件、指定管理の指定案件3件、その他議決案件1件、報告案件6件が審議されました。

立憲民主党渋谷は、令和3年度の一般会計予算の決算に対して、**1、指摘してきた事業に改善が見られないこと。2、本来の事業の目的が明確でないものや、目的から逸れた支出が見られること。3、透明性が低い事業や組織があること。4、予算計上のある事業の執行がなされていること**などから、区民生活の質の向上に繋がっていない事業、施策を指摘し、非認定としました。



主な指摘事項

- |                         |                    |                   |
|-------------------------|--------------------|-------------------|
| ■ 区議会だよりNo296号の再印刷経費    | ■ 渋谷地域活動デビューガイド誌事業 | ■ 中学校部活動支援事業費     |
| ■ 一般社団法人渋谷未来デザインへの補助費   | ■ グローバル拠点都市推進事業    | ■ 渋谷図書館運営費        |
| ■ コミュニティFMへの補助費         | ■ 公営住宅事業           | ■ 認証保育園運営助成費      |
| ■ 渋谷区参与への報酬費            | ■ 本町グランド設計費        | ■ 特色ある学校づくり予算     |
| ■ 渋谷アーチプロジェクト実行委員会への交付金 | ■ ハロウィーン対策費        | ■ 学校給食室の設備および学校空調 |
| ■ おとなりサンデー事業の予算計上外事業    | ■ SNS「ピリカ」活用費      |                   |

### 令和4年度一般会計補正予算 3件が審議されました。

3件の補正予算を増額し、令和4年度の渋谷区歳入歳出予算は、  
**121,546,811千円となりました。** (R4・10現在)

補正予算第2号 102億6274万9千円 原案に反対 修正案に賛成

#### 歳出内容

渋谷本町学園第二グランド複合施設建設工事	4億800万9,000円
都市整備基金積立金	70億円
介護及び障がい者施設への燃料、光熱費等経費補助	5,745万7,000円
18歳までの子ども医療費助成	1,670万3,000円
不妊治療保険適用後の自己負担分軽減補助	6,037万4,000円
デジタル地域通貨(ハチペイ)事業	4億329万円
小中学校給食食材費支援	1,255万4,000円
グローバル拠点都市推進事業	7,092万9,000千円
令和3年度 国・都支出金超過交付返還金	22億3,343万3,000円

立憲民主党渋谷は、補正予算第2号に対し、グローバル拠点都市推進事業の7,092万9千円の支出を削除した修正案を9月14日の総務委員会に提出しましたが反対多数で否決されました。

原案に反対した理由は、投資及び出資金項目のグローバル拠点都市推進事業が不透明な事業だからです。本事業は区が7,000万余を出資し、さらに複数企業が1億円を出資してスタートアップ育成事業を行う法人格を作るというものです。具体的な内容はこれから準

備委員会で決めるとした不確定要素が多く判断材料が乏しいことや、区としても同様の事業を行っている中、わざわざ別団体を設立し有料育成プログラムを実施し営利行為に移行する必要性に明確な答弁が得られなかった事です。さらには、法人格として将来的に利益が出た場合、区民はどうに享受できるのか、損失が出た場合は区民の負担になるのかなども不明確です。徴収された税金は行政が何に使ってもいい訳ではありません。投資先において、税の本来の目的以外に利用される可能性が否定できない事業だと判断し、原案に反対し、立憲民主党渋谷提出の修正案に賛成をしました。

補正予算第3号 22億1,000万円 (国庫支出金) 原案に賛成

歳出内容／全額がオミクロン株対応のワクチン接種に関する費用。

補正予算第4号 22億4,407万8千円 (国庫支出金) 原案に賛成

歳出内容／物価高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯や家計急変世帯への一世帯5万円の緊急支援給付金。

収入が激減した家計急変世帯や今年度転入した世帯は給付申請が必要です。給付要件などの確認は、生活福祉課臨時特別給付金担当主査TEL03-3463-3394までお問い合わせください。

# 区政運営、区有施設の管理等7点について

## 区政運営について

### ①重層的支援体制整備事業について

福祉コーディネーターの配置場所、地域の居場所づくりの拠点はどこか。区内4か所に1名づつ配置。地域の居場所については拠点をつくらす。

### ②枠配分方式について

予算編成のノウハウがある人材の配置、研修も必要。

部局間横断的な協議も必要。その体制について。答弁／能力向上に努めている。部局間の連携を強化している。

### ③ICT監査実施体制について

行政運営の基盤としてICTの重要性は増している。内部監査だけでなく、監査委員監査においてICT答弁／今後の検討課題とする。

### ④物価高騰による区民生活への影響について

小中学校の給食費補助の予算算定期拠と追加予算の捻出予定は。

答弁／米の購入費の半額を補助。現時点では追加予算計上の考はない。

### 区民への支援について

物価高騰の中、生活ひっ迫の把握をどう行うか。困窮者へ直接支援の考えはあるか。独自支援をする考えはない。

### ⑤イベントの実施について

ハロウィーン対策について

今年度どのような対策をとるのか。答弁／安全確保には区も一定の責務がある。関係機関と連携して対策をする。

### 年末カウントダウンイベントについて

年末カウントダウンイベントは区が主導して行うべきではない。今後の方向性について。答弁／社会経済情勢を踏まえ検討していく。



## 環境と食について

### ①みどりの食料システム法について 環境に配慮する事業計画について

ササハタハツや、ふれあい植物センターを畑にする事業は、

法で推進する有機農法や栽培の計画になっているか。

答弁／令和2年のパブリックコメントを基に本計画を策定した。



けても修繕されないなど劣悪だ。  
要望への見解と、修繕計画、今後の予算措置について。  
答弁／優先順位をつけ適切に対応。学校と連携し整備に努める。



## 災害・防災対策について

### ①水害・内水氾濫予測の再調査について

局地的豪雨で排水が追いつかず浸水や内水氾濫の危険性の再調査を。

答弁／ハザードマップは都の資料に基づいて作成。区が再調査する考えはない。

### ②誰一人取り残さないインクルーシブ防災について

危機管理対策部にインクルージョン・マネージャーを福部重層的支援と運動した防災体制を作成。

答弁／整えていると考える。

### ③集合住宅の取り組みについて

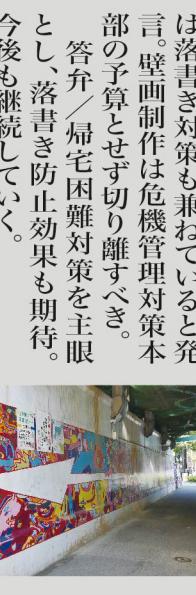
高層住宅特有の防災ガドマップ作成と、自主防災組織立ち上げ支援、資機材の現物支給、近隣との連携策を講じるべき。

答弁／職員派遣している。マンション防災マニュアルを作成しHPで公開予定。資機材の支給考えていない。

### ④シズヤ・アロー・プロジェクトについて

令和3年度財政援助団体等及び随時監査報告書で、負担金に交付要綱がなく、区長決裁により交付など多くが問題視されている。避難誘導の意図が伝わらないなどの指摘がある。区長は落書き対策も兼ねていると発言。壁面制作は危機管理対策本部の予算とせず切り離すべき。

答弁／帰宅困難対策を主眼とし、落書き防止効果も期待。今後も継続していく。



## 選挙投票所の運営について

### ①期日前投票所では、投票所入場券がなくても身分証明書の提示義務はない。なりすまし投票防止対策は。

答弁／公職選挙法第237条において罰則があり十分な抑止効果がある。

### ②期日前投票では、オンライン端末で確認を行い投票できる。指定投票所以外でも投票可能な共

同投票所の導入を。

答弁／二重投票を防ぐシステム整備のコストや安全性に懸念がある。導人は考えていない。